

所管課	産業振興部農林課								
施策の大綱	まちづくりの目標(章)	施策分野(節)	施 策						
	第3章 元気創造都市	12 林業	03 森林の多面的な機能の充実を図る						
事業：森林・林業振興対策事業							整理番号 0241		
目的	森林体験を通して森林の公益的機能についての普及・啓発を行うとともに、森林をフィールドに交流人口の拡大をめざす。大阪府治山治水協会に加入し、治山治水事業を推進する。								
目標	施設、園地の管理を適切に行うとともに、各種森林体験行事を通じて、森林保護、環境保全、林業への理解を促進する。大阪府治山治水協会の負担金を支払う。								
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)	19,920	コスト情報・評価	総コスト(千円)	25,871	総合評価	妥当性	A	
	一般財源	17,297		内訳	事業費		19,920	効率性	A
	国府支出金	2,496			人件費		5,951	有効性	B
	地方債	0		公債費	0	評価理由	森林の持つ公益的機能についての普及・啓発を行うことができた。		
	その他特定財源	127		一人あたり(円)	229				
				世帯あたり(円)	549				
貢献度	施策に対する事業貢献度	A	根拠	森林の機能についての普及・啓発、市民や行政による森林管理への参画・支援を促進し、適正な森林管理を図り、森林の有する公益的機能の維持増進を図る事ができた。					
今後の方向性	「岩湧の森」の諸活動を通して市民への森林機能の普及・啓発を促進していくとともに、「岩湧の森」をフィールドとして、交流人口の拡大をめざす。大阪府治山治水協会に引き続き加入し、治山治水事業を推進する。								

事業優先順位	2 細事業：「岩湧の森」森林体験推進事業							整理番号 01
目的	近年、森林の荒廃により、森林の有する公益的機能が低下している。よって、森林の保全を図るため、適正な森林管理を促進する必要があるが、これには住民の理解が必要不可欠であり、森林の利活用を通じて、森林の機能について、普及・啓発を図ること。							
目標	施設、園地の管理を適切に行うとともに、各種森林体験行事を通じて、森林保護、環境保全、林業への理解を促進する。							
事業実施主体	直営	事業開始年度	平成6年度	根拠法令				
事業費・財源	財源内訳	事業費(決算額)(千円)	平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数	総コスト(千円)	平成24年度	比較
		一般財源	6,833			事業費	9,610	
		国府支出金	5,445			人件費	6,833	
		地方債	1,263			公債費	2,777	
		森林体験行事参加費	0			一人あたり(円)	85	
		飲料等販売代金	50			世帯あたり(円)	204	
			75			職員数(人)	0.35	
			0			再任用職員数(人)	0.00	
今後の方向性	「岩湧の森」の諸活動を通して、市民への森林機能の普及・啓発を促進していくとともに、「岩湧の森」をフィールドとして、交流人口の拡大をめざす。							
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	来園者			
	A	A	A					

事業：森林・林業振興対策事業

森林体験を通して森林の公益的機能についての普及・啓発を行うとともに、大阪府治山治水協会の負担金を支払った。

1. 「岩湧の森」森林体験推進事業

森林体験を通して自然を学び、また、人との交流を図るレクリエーションの場である「岩湧の森」及び四季彩館において、各種森林体験行事を開催することにより、体験を通じて森林保護、環境保全、林業への理解を促進した。

2. 治山事業推進事業

治山治水事業の推進を目的とする大阪府治山治水協会の負担金を支払った。

3. 「岩湧の森」園地管理事業

「岩湧の森」及び四季彩館の園地や施設の維持管理を実施した。

細事業：「岩湧の森」森林体験推進事業

1. 「岩湧の森」森林体験推進事業

森林の持つ公益的機能を普及・啓発するため、四季彩館を中心に自然観察や林業体験等のイベントを開催した。今年度初めて行った「岩湧の森まつり」「森のカフェ」に関しては、多くの参加者を呼ぶことが出来、森林の普及・啓発に繋がった。

イベント	実施回数	参加者数
炭焼き体験	1回	7人
本格しいたけづくり	4回	76人
森のクラフト	5回	110人
自然観察	15回	133人
自然体験	2回	38人
その他	3回	930人
計	30回	1294人



5月4日 岩湧の森まつり



9月12～15日 森のカフェ